

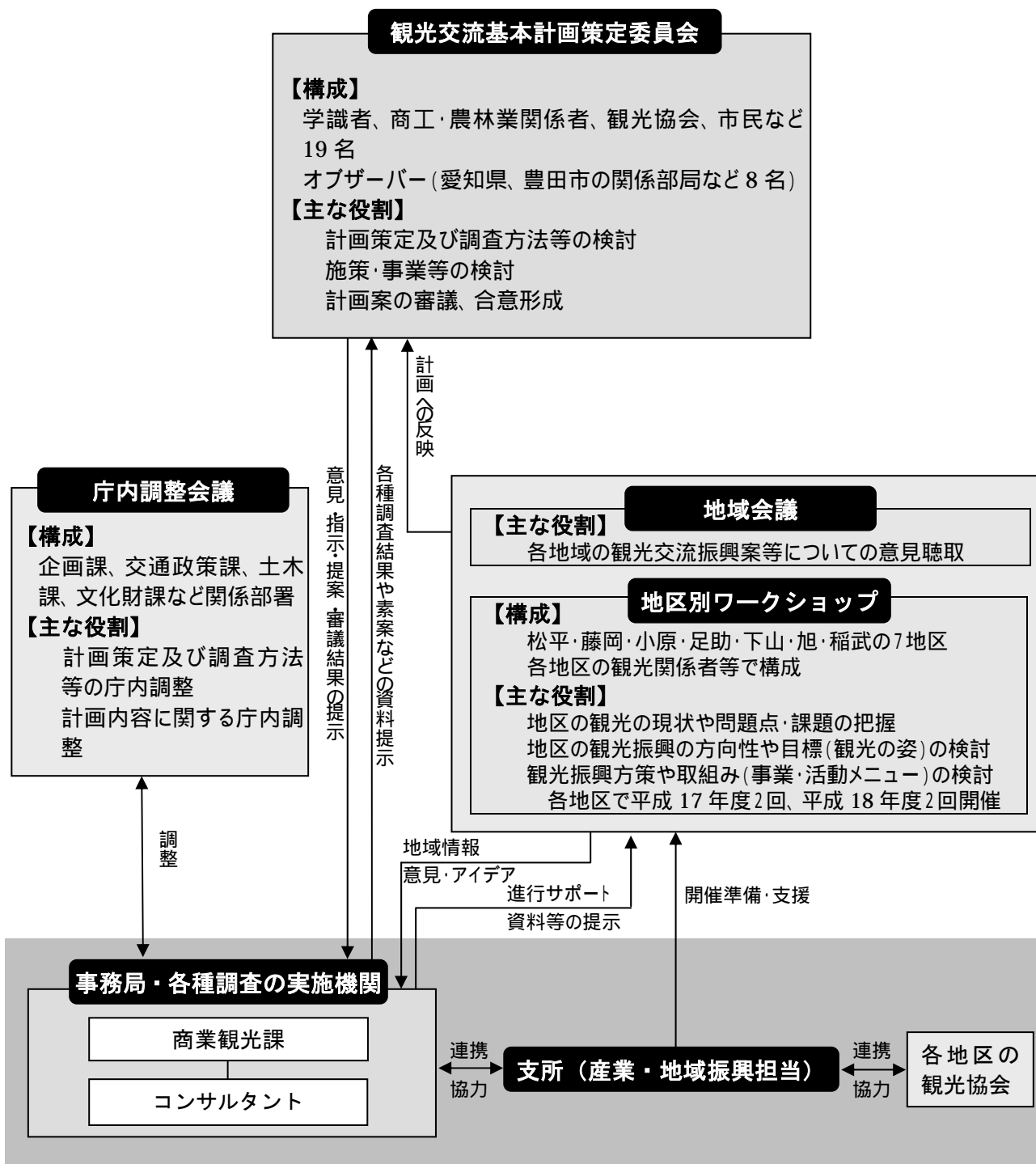
# 資料編

---

# 第1 策定体制と策定経過

## 1 策定体制

### (1) 豊田市観光交流基本計画策定体制



## (2) 豊田市観光交流基本計画策定委員会名簿

委員長 副委員長

	氏名	団体名・役職	委嘱期間
1	森田 優己	桜花学園大学 人文学部観光文化学科教授	H17.11.7～H19.3.31
2	小幡 銀伸	豊田商工会議所 副会頭	H17.11.7～H19.3.31
3	加藤 素男	公募市民	H17.11.7～H19.3.31
4	清水 利男	公募市民	H17.11.7～H19.3.31
5	新田 都子	豊田市消費者グループ連絡会 会長	H17.11.7～H19.3.31
6	山本 輝夫	連合愛知 豊田地域協議会 事務局次長	H18.11.30～H19.3.31
	大日方 誠(前任者)	連合愛知 豊田地域協議会 事務局次長	H17.11.7～H18.8.31
7	松原 千絵	エーディ株式会社	H17.11.7～H19.3.31
8	小山 克弘	あいち豊田農協 総務部長	H17.11.7～H19.3.31
9	林 富造	とよた森林組合 常務	H17.11.7～H19.3.31
10	阿部 義博	社団法人日本旅行業協会 中部支部長	H17.11.7～H19.3.31
11	稲熊 真佐子	豊田ホテル・旅館組合 青年部	H17.11.7～H19.3.31
12	小林 正利	トヨタ自動車株式会社 総務部 係長	H18.1.19～H19.3.31
	天野 安明(前任者)	トヨタ自動車株式会社 総務部 係長	H17.11.7～H17.12.31
13	永井 光彦	藤岡観光協会 会長	H17.11.7～H19.3.31
14	加知 國一	小原観光協会 会長	H17.11.7～H19.3.31
15	小澤 庄一	足助観光協会 会長	H17.11.7～H19.3.31
16	鈴木 弘美	香恋の里しもやま観光協会 会長	H17.11.7～H19.3.31
17	田澤 眞	旭観光協会 会長	H18.6.8～H19.3.31
	大山 和芳(前任者)	旭観光協会 会長	H17.11.7～H18.5.19
18	泉澤 博安	いなぶ観光協会 会長	H17.11.7～H19.3.31
19	渥美 公太郎	松平の里観光協会 会長	H17.11.7～H19.3.31

(オブザーバー)

1	杉戸 雅典	愛知県産業労働部観光コンベンション課 課長	H18.6.8～H19.3.31
	荒川 邦男(前任者)	愛知県産業労働部観光交流課 課長	H17.11.7～H18.3.31
2	真野 進一	愛知県豊田加茂事務所 産業労働課 課長	H18.6.8～H19.3.31
	高山登史雄(前任者)	愛知県豊田加茂事務所 産業労働課 課長	H17.11.7～H18.3.31
3	中村 一茂	愛知県豊田加茂建設事務所 事業調整監	H18.6.8～H19.3.31
	二井 義雄(前任者)	愛知県豊田加茂建設事務所 事業調整監	H17.11.7～H18.3.31
4	横地 清明	総合企画部 部長	H18.6.8～H19.3.31
	小山 正之(前任者)	総合企画部 部長	H17.11.7～H18.3.31
5	名倉 宣汎	社会部 部長	H17.11.7～H19.3.31
6	小野田 武文	都市整備部 部長	H18.6.8～H19.3.31
	佐藤八十郎(前任者)	都市整備部 部長	H17.11.7～H18.3.31
7	杉本 鉄美	建設部 部長	H17.11.7～H19.3.31
8	笠井 保弘	教育委員会 教育次長	H17.11.7～H19.3.31

## 2 策定経過

豊田市観光交流基本計画策定委員会及び地区別ワークショップ、地域会議などを以下のように開催した。

### (1) 豊田市観光交流基本計画策定委員会の経過

委員会	開催日
第1回 豊田市観光交流基本計画策定委員会	平成 17 年 11 月 7 日(月)
豊田市内観光地巡りツアー	平成 17 年 11 月 27 日(月)
	平成 17 年 12 月 2 日(金)
第2回 豊田市観光交流基本計画策定委員会	平成 18 年 1 月 19 日(木)
第3回 豊田市観光交流基本計画策定委員会	平成 18 年 3 月 15 日(水)
第4回 豊田市観光交流基本計画策定委員会	平成 18 年 6 月 8 日(木)
第5回 豊田市観光交流基本計画策定委員会	平成 18 年 8 月 24 日(木)
第6回 豊田市観光交流基本計画策定委員会	平成 18 年 11 月 30 日(木)
第7回 豊田市観光交流基本計画策定委員会	平成 19 年 3 月 23 日(金)

### (2) 地区別ワークショップの経過

地区別ワークショップ		
第1回地区別 ワークショップ	テーマ:地区の観光資源の再発見～ 地区の観光特性と課題 ～	
	松平地区	平成 17 年 12 月 27 日(火)
	藤岡地区	平成 17 年 12 月 6 日(火)
	小原地区	平成 17 年 12 月 12 日(月)
	足助地区	平成 17 年 12 月 16 日(金)
	下山地区	平成 17 年 12 月 12 日(月)
	旭地区	平成 17 年 12 月 16 日(金)
	稲武地区	平成 17 年 12 月 22 日(水)
第2回地区別 ワークショップ	テーマ:地区の目指すべき観光の姿を考えよう! ～ 地区の観光振興の方向性 ～	
	松平地区	平成 18 年 2 月 9 日(木)
	藤岡地区	平成 18 年 2 月 9 日(木)
	小原地区	平成 18 年 2 月 13 日(月)
	足助地区	平成 18 年 2 月 7 日(火)
	下山地区	平成 18 年 2 月 2 日(木)
	旭地区	平成 18 年 2 月 8 日(水)
	稲武地区	平成 18 年 2 月 13 日(月)

地区別ワークショップ		
第3回地区別 ワークショップ	テーマ:観光振興に向けた事業アイデアを考えよう!	
	松平地区	平成18年6月29日(木)
	藤岡地区	平成18年6月14日(水)
	小原地区	平成18年6月15日(木)
	足助地区	平成18年6月20日(火)
	下山地区	平成18年6月19日(月)
	旭地区	平成18年6月16日(金)
	稲武地区	平成18年6月22日(木)
第4回地区別 ワークショップ	テーマ:地区の観光交流推進プログラムの実現に向けて!	
	松平地区	平成18年10月3日(火)
	藤岡地区	平成18年10月10日(火)
	小原地区	平成18年9月27日(水)
	足助地区	平成18年10月3日(火)
	下山地区	平成18年9月28日(木)
	旭地区	平成18年10月12日(木)
	稲武地区	平成18年10月4日(水)

## (3) 地域会議の経過

地域会議		
意見聴取	松平地域会議	平成18年4月7日(金)
	藤岡地域会議	平成18年3月28日(火)
	小原地域会議	平成18年3月28日(火)
	足助地域会議	平成18年3月24日(金)
	下山地域会議	平成18年3月24日(金)
	旭地域会議	平成18年3月28日(火)
	稲武地域会議	平成18年3月27日(月)
報告	松平地域会議	平成19年1月9日(火)
	藤岡地域会議	平成19年1月20日(土)
	小原地域会議	平成19年1月25日(木)
	足助地域会議	平成19年1月29日(月)
	下山地域会議	平成19年2月1日(木)
	旭地域会議	平成19年2月8日(木)
	稲武地域会議	平成19年1月23日(火)

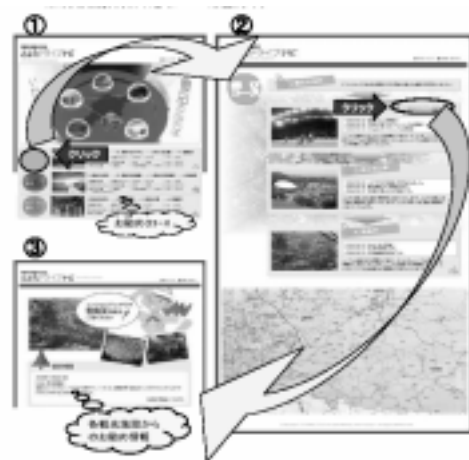
#### (4) 豊田市観光交流基本計画策定にかかる社会実験等の実施概要

観光コンシェルジュ(案内人)による旬な観光情報の提供

##### 《実験の概要》

豊田市観光協会ホームページ内に、足助地区までのおすすめ観光コースを3ルート(豊田の遊び周遊ルート、豊田の芸術周遊ルート、豊田の歴史周遊ルート)を掲載した「とよたドライブナビ」を開設し、ルート上にある観光施設の観光コンシェルジュ(案内人)から、ほぼ毎日のように、施設等の新しい情報(リアルタイムな情報など)を書き込んでもらった。

●期間：平成18年10月～平成19年2月



これらの情報を携帯電話やカーナビへも提供し、観光地への移動途中にける効果的な情報提供方法・内容等についての検証を行うため、以下のモニター車両による通信カーナビ利用調査とインターネットアンケート調査を実施した。

##### モニター車両による通信カーナビ利用調査

「とよたドライブナビ」の観光コンシェルジュ情報を、通常の観光情報と一緒に通信カーナビ(トヨタ自動車の「G-BOOK」対応カーナビ)で提供し、移動中の情報提供手段としての有効性を検証する。

調査にあたっては、豊田市役所周辺から足助まで車で観光に出かけることを想定し、渋滞が予想されることから迂回ルートとして「とよたドライブナビ」の豊田の歴史周遊ルート(松平、下山経由のルート)を設定し、カーナビでの情報提供を受けながら車を運転する。

途中、松平郷及び香恋の館付近で、周辺の観光案内情報をカーナビで検索する。

カーナビでは、周辺の観光案内情報とコンシェルジュ情報(コンシェルジュによるブログへの書き込み情報)を見ることができ、この情報により周辺観光地への立ち寄りなどの行動変化を起こす可能性を検証するとともに、カーナビの操作性やカーナビ等への情報提供の有効性、情報内容の評価を行った。

●観光コンシェルジュ情報のカーナビ上での提供：平成19年1月～

●利用調査：

豊田市役所から香嵐渓までのコース上の2箇所周辺情報を検索して情報内容の評価する。

●調査日：平成19年2月6日(火)、7日(水)

##### 豊田市の観光情報についてのインターネットアンケート調査

インターネットモニターを対象に、観光コンシェルジュ機能を備えた「とよたドライブナビ」を見た上で、その情報提供内容についての評価やこれにより観光地への訪問意向を把握するとともに、観光に行く出発前、移動中、到着後において求められる観光情報の提供内容、リアルタイムな情報や投稿情報などによる観光行動への変化の可能性など、回遊性の向上に寄与する情報内容と提供方法を検証した。

●調査日：平成19年2月14日～2月19日

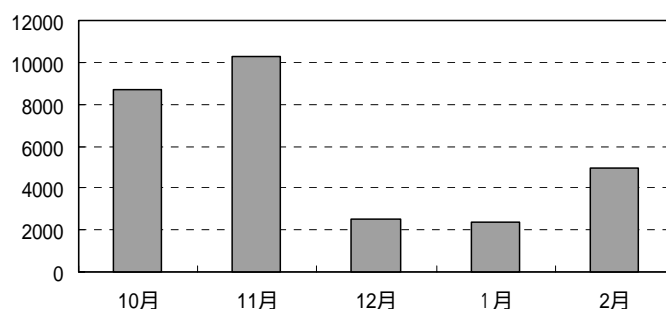
##### 《実験の結果》

##### 1) 「とよたドライブナビ」へのアクセス状況

・10月の中旬からアクセスが増加し、10月は8,664件、11月は10,264件であった。

・10月、11月の観光シーズンに合わせて増加したが、1月以降は急激に減少した。

「とよたドライブナビ」へのアクセス件数



2) モニター車両による通信カーナビ利用調査

- ・観光コンシェルジェ情報が頻繁に提供されている情報ほど評価が高い。
- ・訪れたことが無い人は写真を見て立ち寄りたと思った人が多い。
- ・観光コンシェルジェ情報では、季節の鳥や花などの旬な情報と食べ物に関する情報の評価が高い。
- ・利用者からの投稿情報に興味を持つ人が多い。
- ・カーナビの操作性では検索に要する時間の長さが問題となっている。
- ・わざわざ車と止めて情報を検索するか疑問という見方もあり、自動案内機能が求められる。



モニター車両の内部

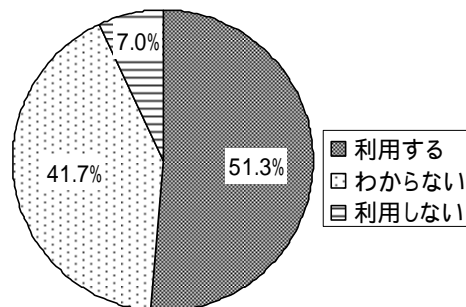
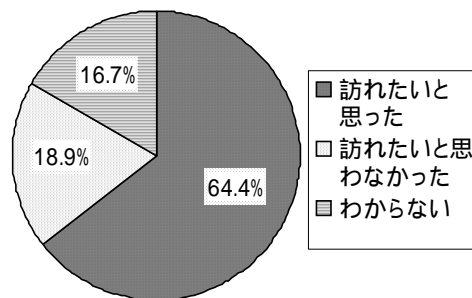


検索情報のリスト画面

3) インターネットアンケート調査

- ・「とよたドライブナビ」情報を見た上での豊田市への訪問意向率は高い。特に訪問経験者の意向率が高く、リピーターを拡大する効果がある。
- ・移動中では、道路・交通アクセス情報を、到着後は観光地の情報や次の目的地までの道路・交通アクセス情報に対するニーズが高い。
- ・「とよたドライブナビ」情報をカーナビで利用する意向者は5割以上に及ぶ。
- ・おすすめ情報やリアルタイムな情報がカーナビで提供されれば、立ち寄り先を変更する可能性は高い。
- ・利用者からの投稿情報は、興味のある内容なら信用する割合は高い。
- ・公共交通機関利用者は、携帯電話や観光地で情報を入手する割合が高い。

「とよたドライブナビ」情報を見て豊田市に観光で訪れたいと思ったか



## 移動式観光案内所の設置による観光情報の提供

### 《実験の概要》

中心市街地や市内観光地のPRを行うとともに、市内の観光地の回遊性を高めるため、豊田市駅前と香嵐渓宮町駐車場に、移動式の簡易な観光案内所を設置し、パンフレットの配布やパソコンを用いた観光案内等を行い、有効な観光案内施設の設置場所や観光情報の提供手段・内容等を検証した。

●期間：平成18年9月30日～10月14日までの金・土・日曜日



### 《実験の結果》

- ・豊田駅前地区での利用者数は7日間で122件、一日平均17.4件の利用があった。
- ・足助地区での利用者数は5日間で260件、一日平均52件の利用があった。
- ・豊田駅前地区での問合せ内容は「見どころ」38件、「道路案内」25件、「施設の場所」24件、「買物場所」と「飲食場所」を合わせて14件であった。
- ・足助地区での問合せ内容は「見どころ」167件、「観光施設等の場所」74件、「飲食場所」23件であった。
- ・豊田駅前地区ではパンフレットを7日間で252部配布した。足助地区ではパンフレットを5日間で302部配布した。



## 観光乗合タクシー運行実験

### 《実験の概要》

豊田市を訪れる多くのビジネス客を観光客化させるため、外国人ビジネス客を主体とした中心市街地と観光地(足助地区)を結ぶ観光乗合タクシーの運行による観光ツアーを実施した。

この運行実験を通じて観光乗合タクシーの利用効果やツアーの満足度を把握するとともに、ツアーの商品化や事業化の可能性について検証した。

●期間：平成18年9月15日～10月14日までの金・土・日曜日



### 《実験の結果》

- ・期間中(14日間)で5日間の利用があった。
- ・利用者数は24人で、1台あたりの平均利用は3人であった(1台あたり8人の利用がないと赤字となる)。
- ・利用者の国籍は、主に南アフリカ、アメリカ、中国、日本であった。



## 観光モニターツアー実験

### 《実験の概要》

豊田市内の観光資源を回遊するツアーを民間の観光ツアー事業者と連携して販売し、観光ツアー商品化に向けた課題を把握した。

観光モニターツアーは「秋の中馬街道・地元で大人気のうまいもんを食べに行こう」、「知られざる名湯・秘湯へ！中馬街道三湯めぐり」、「おしゃれな大人の社会科見学」の名古屋等発の3つのコースを設定して実施した。

●期間：平成 18 年 10 月～11 月

#### ■コース名：「秋の中馬街道・地元で大人気のうまいもんを食べに行こう」

■ツアーの日程：10月13日(金)、10月14日(土)

##### ■旅行のポイント：

サツマイモ掘りを体験し、掘ったイモ1kgを持ち帰り  
五平餅や鮎の塩焼きなどの昼食をご賞味  
百年草の『パーバラはうす』では手作りパンをご賞味  
香恋の里で珍しい“いのししコロッケ”をご賞味  
『手作り工房山遊里』のオリジナルジェラートをご賞味

■料金：5,980円

##### ■コース内容：

手作り工房山遊里(ジェラートのおやつ 9:30～10:00) 香恋の館(珍しい“いのししコロッケ”をご賞味 10:10～10:40) 百年草(パーバラはうすの手作りパンのおやつ 11:20～11:50) 香嵐渓・桧茶屋(昼食 12:00～13:00) 中馬街道(中馬街道を案内人付きで散策 13:10～13:50) 下国谷いもほり農園(イモ掘り体験+掘ったイモ1kgは持ちかえり 14:20～15:00) たまご村(買い物 16:00～16:20) 吉田豆腐店(手作り豆腐の販売 16:30～16:50)

#### ■コース名：「知られざる名湯・秘湯へ！中馬街道三湯めぐり」

■ツアーの日程：10月18日(水)、10月27日(金)

##### ■旅行のポイント：

豊田の名湯・三湯めぐり( 猿投山の山麓、100%自家源泉直結の天然ラドン療養温泉「猿投温泉」に入浴。 城ヶ山の麓に湧く湯「夏焼温泉」の総檜風呂に入浴。 矢作川の清流に沿う情緒豊かな愛知県最古の温泉「笹戸温泉」に入浴。  
豊田の地酒試飲を楽しむ  
どんぐりの里では地元の野菜、出来たてパンのお買物を楽しむ

■料金：6,980円

##### ■コース内容：

猿投温泉・ホテル金泉閣(入浴 9:55～10:55) どんぐりの里(買い物 12:10～12:25) 夏焼温泉・岡田屋(昼食・入浴 12:30～14:10) ほうらいせん吟醸工房(酒造見学・試飲 14:20～14:40) 笹戸温泉・とうふや(入浴 15:25～16:25)

#### ■コース名：「おしゃれな大人の社会科見学」

■ツアーの日程：11月1日(水)

##### ■旅行のポイント：

人気の『キュービー拳母工場』にて工場見学。オリジナル商品のプレゼント付き  
豊田市美術館では常設展に加えて、お抹茶もご賞味！絵葉書(1枚)のプレゼント付き  
トヨタ会館では最新の自動車技術をゆっくり見学

■料金：6,980円

##### ■コース内容：

小原和紙のふるさと(小原工芸和紙の葉すき体験 9:40～11:10) FORESTA HILLS(昼食 12:00～13:00) キュービー拳母工場(工場見学 13:30～14:30) 豊田市美術館(美術館見学/抹茶もご賞味 14:40～15:40) トヨタ会館(見学 16:00～17:00)

《実験の結果》

- ・3コース5ツアーを催行し、合計158名が参加。温泉のツアーの人気の高い。
- ・ツアーの感想として参加者の85%が満足と回答している。
- ・同等のツアーへの参加意向は参加者の41%、友人・知人への勧め(口コミ)は参加者の40%が回答している。
- ・豊田市への訪問意向は参加者の54%が回答している。
- ・豊田市ならではの食事や特産品の購入、季節の花の名所めぐりなどを行うツアーへのニーズが高くなっている。



中心市街地における自転車共同利用実験

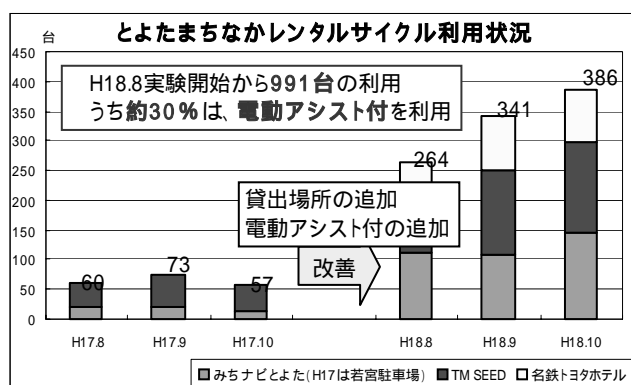
《実験の概要》

ビジネス客などの中心市街地来訪者の中心市街地における移動手段を確保するため、とよたまちなかレンタルサイクルを設置し、自転車の共同利用による移動手段の有効性などを検証した。

●期間：平成18年8月～平成19年3月

《実験の結果》

- ・平成18年8月から貸出場所を「みちなびとよた」、「TM SEED」に加えて「名鉄トヨタホテル」を追加し、また電動アシスト付自転車を導入したことで、利用者が増加した。
- ・8月から10月末までの3ヶ月間で991台が利用され、そのうち、約3割が電動アシスト付自転車を利用している。



### (5) 観光交流シンポジウムの開催

豊田市観光交流基本計画案を広く公表し、計画内容に対する関係者と市民の関心を高めるとともに、豊田市の観光の将来についての有識者による講演、パネルディスカッションを行い、計画推進に向けての関係者の取り組み意欲を喚起させることを目的に、豊田市観光交流シンポジウムを開催した。

#### 豊田市観光交流シンポジウム

##### 「懐かしさと新しさが発見できるまち・とよた」

日 時：平成 19 年 1 月 24 日(水) 午後1時 30 分～午後 4 時

会 場：豊田産業文化センター 小ホール

プログラム：

開会あいさつ

「豊田市観光交流基本計画」案の説明

基調講演

テーマ「心を豊かにする観光まちづくり」

野口 智子氏(ゆとり研究所所長・NPOスローライフ・ジャパン事務局長)

パネルディスカッション

テーマ「地域の魅力を磨くまちづくりを地域の力で」

コーディネーター

森田 優己氏(桜花学園大学教授)

パネリスト

山崎 弘子氏(長浜市:NPO法人まちづくり役場 理事長)

西川 哲司氏(三重の観光プロデューサー)

赤崎 まき子氏(株式会社エイ・ワークス 代表取締役)

野口 智子氏(ゆとり研究所所長・NPOスローライフ・ジャパン事務局長)

小澤 庄一氏(足助観光協会会長・観光カリスマ)



## 第2 用語集

### あ

#### IC カード [Integrated Circuit Card]

IC(集積回路)を組み込んで情報容量を大きくしたカードで、キャッシュ-カードやクレジット-カードなどにも利用されている。

#### アウトドアライフ

アウトドア(アウトドア・アクティビティ)は、屋外で行うスポーツやレジャーの類をまとめて呼ぶ総称で、アウトドアライフの主なレジャーは釣り、ピクニック、キャンプ、山菜取り、ハイキング、トレイルラン、登山、トレッキングなど、自然とともに、自然を感じながら暮らす生活をいう。

#### アグリツーリズム

アグリツーリズムは広義には「都市と農村の交流」のこと、実際には農場で休暇を過ごすこと。イタリア語の Agriturismo(アグリツーリスモ)は、Agricoltura(農業)と Turismo(観光)の合成語であり、1985年の法律第730号により公認された新たな産業である。すなわち、アグリツーリズムとは、農業経営者およびその家族が、農業経営を維持しつつ、自ら所有する家屋、農場および敷地をレストラン、宿泊施設等に活用し、利用客を受け入れる営業活動を指す言葉である。

#### アフタービジネス

仕事や出張などが終わった後(アフターファイブと同じ意味)の余暇時間で、このような時間を使って観光などを楽しむようにしていくこと。

#### アミューズメント

娯楽、楽しみ。

#### アメニティ

生活を便利で、楽しくするもの、恩恵、特典を追加しうるものであり、そうした設備、快適もしくは適度な「環境」(自然環境・社会環境)を表す。

#### ICT [Information and Communication Technology]

情報通信技術を表す言葉。

#### IT [Information Technology]

情報技術。情報(コンピュータ)・通信の工学およびその社会的応用分野の技術の総称。今日では各種情報の収集・加工・発信などに不可欠なものとなっている。

#### ITS [Intelligent Transport Systems]

最先端の IT を使って、通勤や買物、観光などの移動(交通)をより快適に、より安全にしようとするもの。

#### 飯田街道

徳川家康によって作られた、尾張名古屋と信州飯田を結んでいる街道。現在の国道153号(愛知県名古屋市～豊田市～長野県飯田市～伊那市～塩尻市)は、ほぼ旧道を走る。

#### 一店逸品

統一テーマやロゴなどの基準を設けて、各店舗が目玉商品や独自のサービスを差別化戦略として消費者にアピールする取り組みで、地域をあげて自信をもって消費者に勧めることができる商品。

#### インストラクター

技術を指導する指導員であり、観光交流に関わる体験などを教える人。

#### インセンティブツアー

企業が自社製品の販売促進の動機付けを行う

ために、販売成績のよい自社又は系列企業の社員及び顧客を招待する報奨旅行。

### インターネットアンケート調査

インターネットアンケート調査とは Web 上でアンケートを行う手法。従来の郵送調査、電話調査、街頭調査などと比べ低コスト、短期間で実施できる。インターネット調査では、必須回答設問に回答者が答えずに送信ボタンを押すと、エラー表示し回答を促すことができるため、同じ自記式の郵送調査と比較して無効票を大幅に削減することが可能である。またインターネット調査はキーボードを使って回答者に入力してもらうため、収集したデータの入力の手間が省ける点も魅力的である。

### インタープリター

自然や歴史の魅力を旅行者に解説・通訳をする人。

### ウェルカムカード

「ウェルカムカード」を提示することにより、地域内の宿泊施設、交通機関、飲食店、観光施設等で割引などの特典が受けられる制度。

### ウェルカムセンター

外国人等の来訪者が充実した滞在時間を過ごすことができるように、観光案内、施設案内、交通案内などの総合的な案内を行なう窓口。

### ウォーキング観光

まちなかや自然などの魅力を歩いて楽しむ観光。健康志向とともに関心が高まり、各地でウォーキング(ハイキング)のツアーが実施されている。

### エキスパート

専門・特定分野において特殊な技能や経験・知識を持っている専門家や熟練者。

### エコツーリズム

環境や社会的なもので含めての生態系の維持と保護を意識したツーリズム(旅行、リクリエーション)のこと。

### エコミュージアム

エコミュージアムは1960年代後半にフランスで始まった博物館の取り組みで、地域の環境をそれらが本来ある場所で保全し、地域全体を博物館と考え、住民自らが魅力的な地域づくりを行うことで、地域経済の活性化や地域振興を図るもの。なお、エコには「エコロジー(環境生態)」「エコノミー(経済)」「エコール(学校)」の意味がある。

### エリア・ツーリズム・エージェンシー(ATA)

市町村の定める「地域観光振興計画」に基づいて観光地の活性化構想に取り組む民間の組織のうち、市町村が認定したものを指す観光ルネサンス事業上の呼称。

### エンターテイメント

娯楽。気晴らし。また、そのための催し。

### オーナー制度

都市農村交流の一つの形態として、農山村における経済的振興、地域活性化と都市住民の自然志向とが結びつくかたちで生まれた制度。農林産物を介して行なわれるものが多く、例えば分収育林制度として、都市住民が植林・造林事業に投資し、伐採時の収益を森林所有者、維持管理者との間で分配するもの。これについては果樹や和牛、稲でも同様の取り組みがある。

棚田オーナー制度は、棚田の荒廃を防ぐため、都市住民に棚田のオーナーとなってもらい、地元との交流を図りながら、棚田の耕作を行ない、美しい棚田の景観を保全する制度のこと。利用料として、1区画あたり年間数万円を支払うかわりに、収穫された米をもらえるなどの特典がある。

## オープン・カフェ

歩道や広場を利用して屋外に設置されたカフェ。

## オフロード

道路以外の場所、舗装されていない道など。あるいはそこで自動車やオートバイを走行すること。

## か

## カーシェアリング

1台の自動車を共同で利用する自動車の新しい利用形態。利用者は自ら自動車を所有せず、管理団体の会員となり、必要な時にその団体の自動車を借りるといふ、会員制レンタカーのようなもの。

## ガイドツアー

自然や文化遺産をただ見るだけでなく、自然界の面白さや地域文化の奥深さを伝える解説者(ガイド)が、旅行者を案内する小旅行。

## ガイドライン

ガイドラインは指標・指針・誘導指標・指導目標などと訳される。組織・団体における個人または全体の行動(政府における政策など)に関して、守るのが好ましいとされる規範(ルール・マナー)や目指すべき目標などを明文化し、その行動に具体的な方向性を与えたり、時には何らかの「縛り」を与えるもの。

## 回遊

方々をめぐり、遊ぶことの意味で、一箇所に留まらず、常に移動している状態。

## かしい交通社会

観光地へ快適でスムーズに移動できるように

ITS等の活用による最先端の交通施策の取り組みが推進されている交通モデル都市。

## 語り部

「語り部」(かたりべ)とは、古い言い伝えや伝説を語ることを職業としている人。

地域を一緒に歩きながら地域に関する歴史や自然などの地域情報や郷土情報等について案内するガイドのこと。

## 環境省エコツーリズム推進モデル事業

エコツーリズムを各地で推進するため、モデル地区を選定し、環境省等が各種の支援を行う制度。2004年3月にモデル事業実施地区を募集し、知床地区、裏磐梯地区、飯田地区など13地区が選定された。選定されたモデル地区では、2004年度から資源調査、プログラム開発、ガイド等の人材育成、ルールづくりなどのエコツーリズム推進モデル事業が、環境省、関係都道府県等の支援を受け展開されている。

## 観光カリスマ

国土交通省において「『観光カリスマ百選』選定委員会」において選定された全国各地の観光振興を成功に導いた人々。

## 観光検定制度

観光検定制度は、観光客にもっと地域で楽しんでもらえるよう、地域全体の魅力を案内できる人材の育成と、観光客の受け入れ体制の整備を目的として行う制度。観光事業者にとっては、検定を通じて習得した知識を活用し、来訪者に的確な情報提供を行うなど、おもてなしの充実になる。また、観光事業者以外の市民などにとっても、地域の魅力ある観光資源を再認識することになり、地域全体で観光客を受入れる体制の向上につながる。

## 観光交流人口

観光地や各種イベントに訪れる観光客数をはじめ、仕事、消費、学習、余暇など様々な動機で訪れる人口で、観光地のにぎわいを表す目安となる。

## 観光入り込み客数

観光地や各種イベントに訪れる観光客数。

愛知県観光レクリエーション利用者統計は、観光レクリエーション資源・施設について、市町村独自の方法により調査または推計を行った利用者(延べ数)の報告数値をもとに作成しており、集計結果は、特に補正を行わない単純合計となっている。

## 観光コンシェルジュ

観光客に観光についてのアドバイスや観光地へのアクセス方法などを説明する人のこと。

コンシェルジュは、フランス語で受付や管理人などの意味。

## 観光プロモーション

観光振興に向けた宣伝など、消費者に対して観光行動を高めるようにするために誘客活動などを行うこと。

## 観光マーケティング活動

観光地や観光施設の魅力を高め、観光客を集客する一連の流れを行う活動をいう。具体的には、観光客のニーズに基づく観光資源・商品の開発やイベントの開催、観光情報の発信などの諸活動を一連の流れの中で総合的に展開すること。

## 観光まちづくり

地域が主体となって、自然、文化、歴史、産業など、地域のあらゆる自然を生かすことによって、交流を振興し、活力あふれるまちを実現するための活動。

## 観光まちづくりアドバイザー会議

国土交通省では、地域の自主的な「地域観光マーケティング」活動を、旅行会社など専門家の経験などを活用して、全国各地に普及させていく「地域観光マーケティング促進事業」を実施しており、全国10ブロックにおいて、観光関連学識者、シンクタンク及び有識者、旅行会社、旅行業協会、観光協会、運輸事業者、整備局、運輸局などで構成される「観光まちづくりアドバイザー会議」を設置し、地域観光マーケティング促進スキームを構築するとともに、重点支援地域に対して「観光まちづくりコンサルティング事業」を実施している。

## 観光立国推進基本法

観光立国推進基本法は、昭和38年に制定された「観光基本法」を全面改正し、平成19年1月1日より施行された。本法では、観光を21世紀における日本の重要な政策の柱として明確に位置付け、地域における創意工夫を生かした主体的な取り組みを尊重しつつ、地域の住民が誇りと愛着を持つことのできる活力ある地域社会づくりを通じて国内外からの観光旅行を促進することを基本理念に掲げている。

国では、今後、「観光立国推進基本計画(マスタープラン)」を策定し、総合的かつ計画的に政策を推進していくことにしている。

## 観光ルネサンス事業

国際競争力のある地域魅力の増進を図るため、民間を主体とした組織による情報提供や人材育成などの観光振興事業への補助を行い、地域と民間と行政が一体となった観光振興を総合的に支援するために創設された事業で、「観光地域づくり実践プラン」と、「観光ルネサンス補助制度」の2つの制度からなる。

## 帰農

故郷に帰って農業をすること。

## 共通 IC カード

IC(集積回路)を組み込んだ IC カード式乗車券で、このカード1枚で様々な公共交通機関を乗り降りでき、スムーズな乗り換え・乗り継ぎができる共通のカード。

## 国指定史跡

文化財保護法において貝塚、古墳、城跡などの遺跡で、日本の国にとって歴史上又は学術上価値の高いものを、文部科学大臣が史跡として指定したもの。史跡の現状変更や保存に影響が出る開発などの行為は、文化庁長官の許可が必要となっている。豊田市内では、松平氏史跡が平成12年に国指定史跡として指定されている。

## グリーンツーリズム

緑豊かな農村地域において、文化や人々との交流を楽しむ、滞在型の余暇活動。

## 景観協定

地区の住民、地区で営業している企業、地区内に土地や建物を所有者などが自ら締結する景観形成にかかわるルール。

## 景観形成のガイドライン

景観形成のための基本的な考え方を、地域住民、民間事業者、自治体担当者といった、景観形成に関わる全ての人々に判りやすく伝えることを目的として作成されるもの。

## 高規格道路

自動車の高速交通を確保するために必要な道路で、全国的な自動車交通網を構成する自動車専用道路

## 交通モデル都市

豊田市では人とクルマと公共交通等が賢く使われている交通モデル都市を目指し、およそ10年

前からITS(高度道路交通システム)の研究に着手し、平成18年6月末までに国・民間による取り組みも含め、34メニューの社会実験を実施またはサービスを開始しており、地域ITSの実現へ向けて積極的かつ着実な取り組みを継続している。このようなITS等の活用による最先端の交通施策の取り組みにより「かしこい交通社会」が形成される都市を交通モデル都市という。

## コーディネート

いろいろな要素を統合したり、調整したりして、一つにまとめこと。

## コンベンション

ある特定の目的のために大勢の人々が集まる催しや集会のこと。国際会議、学会、研修会、討論会、講演会、博覧会・見本市・展示館など。

## さ

## サポーター

支持者、後援者などの支えとなる人。

## 産業観光

歴史的・文化的価値の高い産業遺産や生産現場、産業製品などを観光資源として位置付け、それらを通じてものづくりの心に触れる観光活動。

## 自治力

地域の事柄について、自ら考え、自ら責任を持って行動し、問題を解決できる力を指す。

## 新市建設計画

市町村の合併の特例に関する法律により、自治体の合併に際して、合併後のまちづくりに関する基本的な計画として作成されるもの。

豊田市においては、平成17年4月の合併に際

し、「ゆたかさ創造都市 健康でさまざまなライフスタイルが実現できるまち」を将来都市像に平成17年から平成26年度までの10年間の計画を策定している。

### 自転車共同利用

1台の自転車を共同で利用するもの。豊田市では「とよたまちなかレンタサイクル」として豊田市中心市街地での自転車共同利用の現状システムの課題や利用者ニーズ等を把握するための社会実験を実施している。

### セカンドスクール

セカンドスクールとは、児童・生徒が学校を離れた場所で、様々な自然体験、社会体験、宿泊体験、共同生活体験等を行い、その活動を教科学習として授業時数にカウントできるシステム。

豊田市では平成18年8月に「セカンドスクールモデル校事業」を実施し、児童が農家に泊まり込み、山林での間伐、炭焼きなど農山村の暮らしに直接触れて学ぼうという体験学習を行っている。

### セグメント

区分や分割すること。観光客を年齢層や同伴者別などに分けてターゲットとして区分する場合、観光セグメントという。

### ゾーニング

土地の特性や機能などによって分類される要素ごとに配置領域(ゾーン)を区画することをゾーニングという。具体的には、各要素がどの位置に、どのくらいのスペースをとり、どのように配置するのかを設定する。

た

### 第7次総合計画

総合計画は、自治体におけるまちづくりの最上位に位置づけられる行政計画であり、長期展望に立った計画的、効率的な行政運営の指針を示すもの。一般に、総合計画は基本構想・基本計画・実施計画の3本柱で構成され、そのうち基本構想は、地方自治法第2条第4項の規定に基づき、議会の議決を経て総合的かつ計画的な行政の運営を図るために定めるもので、まちづくりの基本理念、将来都市像、土地利用の基本方向、施策の大綱などを示している。

豊田市では現在、第6次総合計画や新市建設計画を踏まえ、平成20年度から平成29年度を計画期間とする第7次総合計画を策定中である。

### 地域観光マーケティング促進事業

国際競争力のある観光地づくりの推進に向けて、地域と旅行業者等との連携・協働により、地域の観光魅力を発掘・増進させ、新たな企画旅行商品として流通を促進するため、旅行業者等のメンバーからなる「観光まちづくりアドバイザー会議」を設置し、地域に対する具体的なアドバイス等を行う事業。

### 地産地消

「地元生産 - 地元消費」を略した言葉で、「地元で生産されたものを地元で消費する」という意味。「地産地消」は、消費者の食に対する安全・安心志向の高まりを背景に、消費者と生産者の相互理解を深める取り組みとして期待されている。

### 中馬街道

飯田街道の別称。三河湾で作られた塩を山間部へ運ぶための「塩の道」として発展したといわれる。中馬とは、今でいう運送業者のことをいい、現在も中馬街道は国道153号として、重要な役割を果たしている。

## ツアー開発

ツアーを企画し、ツアー商品として販売すること。

## TDM [Transportation Demand Management]

交通需要マネジメントの略。自動車利用者の行動を変えることにより、道路渋滞をはじめとする交通問題を解決する手法。

## テクニカルビジット

工場・店舗等の経営の現場や資料館等などの必要な情報が得られるところを訪問し、実習すること。また、観光、ビジネス、学术交流等の目的をもって訪れる訪問者に工場、産業博物館、研究所等の産業施設を対象とした産業観光のこと。

## デポジット制

預り金(英語: Deposit)を意味する。自転車などを借りる際に、料金に一定額を上乗せして貸し、利用者が自転車を返却した時に上乗せした金額を払い戻す制度。

## トップセールス

企業の社長のトップが自ら自社製品の特長や優秀性を宣伝し、積極的にセールスを行うこと。

## トライアル

設定された難所のコース(セクションと呼ぶ)を、いかに足をつかずにオートバイや自転車で走り抜けるかを競う競技。

## トランジットモール

「トランジット」とは公共交通機関を指し、「モール」は歩行者の空間を指し、歩行者と公共交通のための道路空間として、一般の車両通行を抑制した歩行者専用の空間であり、バス、路面電車等、公共交通機関だけが通行できるようにした街路の

ことをいう。

## トレッキングツアー

トレッキングは山歩きの一種で、ハイキングと登山の中間くらいの活動で、山々を眺めながら歩くツアー。

## とよたグローバル スクエア

外国人と市民が気軽に語り合い、互いの文化を知り、国際理解を深める交流を育む場

## な

## 内発力

外からの支援などに頼って地域開発を目指すのではなく、地域住民自らがコミュニティー組織を通じて、自らの手で地域づくりを行い、その地域の問題の解決や地域発展を目指していく力。

## 農家民泊

農家民泊とは、農家に泊まり農作業や田舎暮らしを体験していただくことで、都市と農村の交流を図ろうというもの。ホテルのような接待はなく、田舎のまごころを提供するもの。

## は

## パーク・アンド・ライド

駐車場の「Park」と乗るの「ride」を組み合わせた造成語で、住宅から鉄道駅やバス停まで自家用車で行き、そこで駐車してもらい、鉄道やバス等を利用するもの。観光面では、観光地の渋滞や環境汚染を減らすと同時に、道に不慣れな観光客に利便性を提供することができる。

## パーソナルモビリティ

ユーザが所有する電話端末やデータ端末をどこへ持っていても、あるいは他人の端末を利用した場合でも、自分の希望するサービスを個人の番号によって享受できること。

## パートナーシップ

市民、事業者、行政の協力や協力体制を指し、それぞれ自立した主体として、それぞれが他者の主体性を尊重し、かつ相互作用による創造的な効果を発揮していくこと。

## パラグライダー

化学繊維で出来た布とラインを組み合わせて滑空翼を形作っているレジャー用の乗り物。エンジン付きのモーター・パラグライダーと、動力なしのパラグライダーがある。

## バリアフリー

障害(バリア)がないことであり、段差や仕切りを無くすなど、高齢者や障害者に配慮すること。

## PDCA サイクル

Plan / Do / Check / Action の頭文字を揃えたもので、プロジェクトの実行に際し、「計画をたて(Plan)、実行し(Do)、その評価(Check)にもとづいて改善(Action)を行う、という工程を継続的に繰り返す」仕組み(考え方)のこと。

## ビジット・ジャパン・キャンペーン

国土交通省が中心となって行っている、外国人旅行者の訪日促進活動のことである。

国土交通大臣が本部長となり、関係省庁および民間団体・企業が参加している「ビジット・ジャパン・キャンペーン実施本部」が2003年4月1日に発足した。このキャンペーン実施本部が海外諸国での日本旅行の広報や、国内における外国人旅行者向きインフラの整備などを行っている。

## ファン

特定の対象に対する応援者、愛好者のこと。(熱狂的な、あるいは狂信者を意味する fanatic の略語)

## ファンド

資本。基金。

## フィールドミュージアム

直訳すると野外博物館であり、その土地の歴史・風土・文化そのものを博物館又は美術館に見立て、住んでいる人と訪れた人が互いに価値を発見していく仕組み。

## フィルムコミッション

映画、テレビドラマ、CMなどのロケ撮影を誘致し、実際の撮影をスムーズに進めるための様々な支援を行うもので、例えば撮影に関する地域の情報提供や公共施設の使用手続きの調整などの窓口を行う。これを通じて、地域の特性・魅力を内外に発信するとともに、地域の活性化を図る効果がある。

## フォーラム

集会、討議会のこと。また、討議する場。

## 藤井達吉

小原和紙を再興し、工芸和紙、美術品の域にまで高めた人物(1881-1964)である。小原に疎開してきた達吉は、良質な手すき和紙(三河森下紙)が盛んであった小原に新しい工芸をおこし、村の生活を豊かにするため、北大野の鳥屋平(とやがひら)に芸術家村を作ろうと若者たちを熱心に教えた。また、小原和紙の原料の楮の繊維に染色し、風景や抽象的な模様を色紙・ふすま・屏風などにすき込むという新しい作り方を考案するなど小原工芸和紙の基礎を築いた。

## フットパス

ハイキングなどで歩く人のための道、歩くことを楽しむための道のことを言う。英国において同種のみちが「Foot Path」と呼ばれていることから用いられている。

## ブランドイメージ

ブランドとは、ある商品・サービスを象徴するもののこと。ある商品・サービスを別の商品・サービスから区別するための商品名称やシンボルマーク、模様だけでなく、消費者が商品・サービスを見た際に想起させる周辺イメージ総体もブランドと呼ぶ。

また、ブランドイメージは特定のブランドに関して消費者が抱く価値、感想、体験、イメージなどの総体のこと。

## プレゼンテーション

情報伝達手段の一種で、聴衆に対して情報、企画、提案を提示して説明する行為を指す。略してプレゼンとも云われる。

## プロパー

英語で妥当な、正しい、固有の、専門の、本来のという意味で、会社の場合、出向社員や移籍社員と対比して、元々その会社に採用され、業務に付いている生え抜きの正社員のことを指す。

## ポータルサイト

WWW にアクセスするときの入口となるウェブサイトのこと。

## ホスピタリティ

おもてなしの心。特に、ホテルや外食、観光地などにおけるサービスのよさを評価する際に用いられる。

## ポテンシャル

ポテンシャルは英語であり、直訳すると「潜在性」、「潜在的な」という意味の形容詞である。そこから転じて潜在的能力のことをさす。

## ボランティアガイド

ボランティアで自分達が暮らしている地域等を案内、紹介している人の事。プロではなく、無料もしくは低廉な料金で、訪れる旅行者に温かい地域の魅力を紹介する人。

近年、全国各地でこのようなガイド活動が活発になっており、最近では地域の紹介にとどまらず、地域づくりに貢献するなど、地域の活性化や交流に果たす役割の重要性が高まってきている。

## ま

## マイスター

ドイツ語で「親方・職人・名人」などの意味を持ち、観光に対して卓越した技術や知識を身につけた人。

## まち再生総合(まるごと)支援プラン

複数のまちづくり支援策をパッケージ化し、行政と民間のパートナーシップによるまちづくりを一体的に支援する制度。支援策としては、市町村の創意工夫を推進する「まちづくり交付金」の上限金額の増加や、民間企業、住民の活力を導入する民間資金誘導の新たな仕組み「まち再生総合支援事業」、「駅まち協働事業」などがある。

## まちづくり交付金

国土交通省が都市開発関係の補助金を統合し、創設した交付金。

## まちづくりナビプロジェクト

国土交通省が平成18年度から実施している事

業で、携帯電話等を利用した歩行者の移動支援や交差点標識とカーナビ等を連携させた案内システムの構築など、観光客の移動円滑化を図る地域の創意工夫を活かした取り組みを公募し、国土交通省がそのシステム開発を行うなどの支援を行い、先進事例として地域における観光振興の推進を目的とする事業。

## 水の郷

豊田市旭地区は、「川とともに生きるまち…あさひ」として、平成7年度に国土庁の「水の郷百選」に認定されている。水の郷百選は、水環境保全の重要性について広く国民にPRし、水を守り、水を活かした地域づくりを推進するため、地域固有の水をめぐる歴史・文化や優れた水環境の保持・保全に努め、水と人との密接なつながりを形成し、水を活かしたまちづくりに優れた成果を上げている地域が認定されている。

## みちなびとよた

みちなびとよたは、豊田地域ITS「STAR T21」の中に位置づけられた、ITSを中心とした総合地域情報提供施設(豊田市ITS情報センター)の愛称である。また、豊田市交通政策課が運営する移動支援ポータルサイトであり、豊田市を訪れる人や暮らしている人に対して、これまで個々に整備・提供していた各種情報を統合化して提供することにより、円滑・快適・安全な移動の支援を目的としている。携帯電話、インターネット、街頭端末、カーナビなどのさまざまなメディアで情報提供できる環境を整備しており、出発前、移動中、目的地などのさまざまなシーンで、情報サービスを提供できる。

## 美濃街道

現在の国道257号で、東美濃へ向かう街道。

## メディア

新聞・雑誌・テレビ・ラジオなどの情報媒体。

## モニターツアー

モニター依頼者が旅行費用の一部を負担等しながら旅行会社などにツアーを企画・実施してもらい、旅行内容などについての調査報告をモニターにしてもらう旅行の一形態。

## や

## 矢作川フォレストランド

矢作ダム水源地域の総称で、国土交通省と3県4自治体(6地区、愛知県豊田市旭地区・稲武地区、岐阜県恵那市串原町・上矢作町、長野県根羽村・平谷村)で構成される。矢作水源フォレストランドでは、地域の活性化を図るため、「わごころの交流を楽しみ、矢作ダム水源地域の活性化を計る。」「地域の歴史文化と伝統を誇りとする。」「豊かな森林資源と清流・矢作川を誇りとする。」「人を慈しみ、自然を慈しむ、やすらぎの郷を誇りとする。」「山の幸、水の幸に恵まれたふるさとを誇りとする」の5つの基本理念に沿って様々な活動(水源地域ビジョン)を展開している。

## 山里体験

農山村(山里)において、地域の活性化と産業の振興を図るため、地域資源を活かし、そば打ちや豆腐づくり、竹細工づくりなど、昔ながらの製法を用いて、人と人との心の触れ合いを大切にしながら懐かしさを感じることができる山里の生活・文化を体験すること。

## ユニバーサルデザイン

「体の不自由な人が使いやすいデザインは誰にも使いやすい」との発想に立ち、年齢や性別、障害の有無などに関係なく、誰にも使いやすい配慮

がなされたデザイン。製品づくりや空間だけでなく、社会の仕組みなど様々な分野で見直しが進められている。

## ら

### ライフスタイル

生活の様式。その人間の人生観、価値観、自分らしさを反映した生き方。

### ランプシェード

電球の笠のこと。素材やデザインにより、拡散光や直接光など、さまざまな光が得られる。

### リアルタイム

「即時に」、「同時に」、「実時間」という意味の言葉。

### リピーター

一度訪れた地域や施設、店舗などに何度も足を運ぶ人のことを指す和製英語。

### レッドデータブック

絶滅のおそれのある野生生物について記載したデータブックのことで、RDB と略されることもある。1966年にIUCN(国際自然保護連合)が中心となって作成されたものに始まり、現在は各国や団体等によってもこれに準じるものが多数作成されている。日本で単に「レッドデータブック」と言うときは、環境省によるもの、あるいはIUCNによるものを指すことが多い。

### ロングトレイル

トレイルとは、日本語で「跡」や「痕跡」という意味があるが、ここでは自然歩道のこと。ロングトレイルとは長距離の自然歩道をさす。

## わ

### ワーキングホリデー

青年などが異なった文化の中で休暇を楽しみながら、その間の滞在資金を補うために一定の就労をすること。

### ワークショップ

本来作業場や工房を意味する語。今日では「体験型の講座」を指すことが多い。近年は企業研修や住民参加型まちづくりにおける合意形成の手法としてよく用いられている。